朝来市議会だより

12月 3月 9月 6月
定例会は年に4回

第92号
令和6年
9月定例会

若い力を市政に活かそう…高校生議会

百条委員会／政倫審
決算認定
決算審査意見／補正予算
議案の状況／委員会調査報告
委員会調査報告／実施報告／パブコメ結果報告
議会だよりアンケート
一般質問
高校生議会
日程（12月定例会の予定）／高校生議会

百条委員会の調査進む －請願受理及び個人情報取扱事務調査特別委員会－

6月24日に設置された百条調査特別委員会は9月議会最終日までに4回の委員会を開催して調査にあたりました。

① 6月19日朝の議会運営委員会で請願第3号が開示される前に同情報の内部情報が議員以外に流出、漏洩している可能性について調査すること

② 特定の議員が請願者名簿を利用して請願賛同人の個人宅等を訪問し、請願辞退を働きかけた疑いがあること

以上の調査を進めています。調査では、事実の解明をするために必要な証人を選び、証人尋問を行っています。

第3回委員会では3人の証人尋問を行いました。第5回委員会では引き続き証人尋問を継続していくこととしました。

［ 委員会の経過 ］

【第1回】 令和6年7月1日(月)
正副委員長の互選・・既報告

【第2回】 令和6年7月22日(月)
委員会運営要領の決定、次回証人尋問者の決定など

【第3回】 令和6年8月7日(水)
3人の証人尋問を実施した。
大久保 義一証人　森下 恒夫証人　宮元 広司証人

【第4回】 令和6年9月10日(火)
次回委員会(10月2日)における証人尋問の対象者、実施方法、質問事項を決定した。
森田 龍司証人　　足立 義美証人
渕本　稔証人　　関　綾乃証人

［ 証人尋問(第3回委員会) ］

▶ 大久保 義一証人(請願代表者)の証言(一部)

請願書は6月17日午後4時ごろ提出しました。

6月19日の朝8時39分に請願者の一人から、「署名を撤回したいので森下紹介議員と連絡を取りたい」と言う旨の電話があったことを議会事務局からの電話で聞きました。

6月20日に3人、21日に4人と連続して7人から請願賛同人を辞退したいとの申し入れがありました。いずれも関議員が訪ねてこられ、辞退の要請を受けたとのことでした。

▶ 森下 恒夫証人(紹介議員)の証言(一部)

6月19日朝の議運で請願情報が議員に開示される前に、私が紹介議員であると言う情報が、議員以外の人間に漏れていた。こんなことはありえないことなのでしっかり調査して真相解明が必要である。

▶ 宮元 広司証人(議会事務局長)の証言(一部)

6月17日午後に受け付けた請願書は、当日の夕方、電子メールで森田議長に報告しました。

最初の取消者である方から連絡を受けたのは、これは取消しをしてくださいという連絡ではなく、賛同者名簿に自身の氏名が記載されていることの事実確認であり、森下紹介議員と連絡を取りたいという内容で6月19日の午前8時39分に電話をいただきました。

百条委員会運営要領(概略)

・委員会の会議は原則公開とする
・調査は証人の基本的人権に最大限配慮すること
・証人への尋問方法は民事訴訟法に準じて行うこと
・証人が偽証をしたときは禁錮などの罰則が適用されること
・証人は出頭時に補佐人の同伴を申請できること
・委員会は弁護士の助言を求めることができること、他。

請願法

第5条　この法律に適合する請願は、官公署において、これを受理し誠実に処理しなければならない。

第6条　何人も、請願をしたためにいかなる差別待遇も受けない。

地方自治法

第124条　普通地方公共団体の議会に請願しようとする者は、議員の紹介により請願書を提出しなければならない。

議会個人情報保護条例

第3条(議会の責務)
議会は、その保有する個人情報の適正な取扱いが確保されるよう必要な措置を講ずるものとする。

第9条(安全管理措置)
議長は、保有個人情報の漏えい、焼失又は毀損の防止その他の保有個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない。

第12条(利用及び提供の制限)
議会は、法令に基づく場合を除き、利用目的以外の目的のために保有個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

朝来市議会政治倫理審査会
審査結果報告

令和６年５月１日付で審査付託を受けた３件の事案について、審査が終了しましたので報告します。
※審査結果報告への質疑・討論・採決等は、令和６年12月開催の定例会にて行われる予定です。

■審査結果

１．審査請求対象の議員

吉田　俊平　議員

２．審査の請求の対象となる事由の該当条項及び内容

朝議第28号：朝来市議会議員倫理条例第３条第１項第１号（＊）
令和５年12月25日の第15回朝来市議会定例会における発議第11号朝来市小規模企業等振興条例の制定についての審議中の松井道信議員に関する不当発言

朝議第29号：朝来市議会議員倫理条例第３条第１項第１号（＊）
令和５年２月10日の産業建設常任委員会における藤本邦彦議員に関する虚偽発言及び名誉毀損発言

朝議第30号：朝来市議会議員倫理条例第３条第１項第１号（＊）
令和５年２月10日の産業建設常任委員会における一般社団法人よふどの恵及び同法人理事細見守に関する虚偽発言及び名誉毀損発言

＊市民全体の代表として、その品位と名誉を損なうような一切の行為を行わず、その職務に関して不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないこと。

３．審査の結果及び必要と認める措置

朝議第28号、朝議第29号、朝議第30号のいずれの事案においても、朝来市議会議員倫理条例第３条第１項第１号の規定に違反する事実があったと認定し、必要と認める措置として「公開の議場における議長からの厳重注意及び対象議員による謝罪文の朗読」と決定した。

なお、いずれの事案についても、①議場における措置後の議長等による記者発表、②審査結果の議会だよりによる公表、③審査結果のケーブルテレビ放送による公表、を行い、審査請求者の名誉回復に資すること。

■審査対象議員からの陳述書

審査結果報告を受けての審査対象議員からの陳述書の提出はありませんでした。

委員会の構成

委員長：藤原　正伸　　**副委員長**：水田　文夫
委　員：横尾　正信　　加藤　貴之　　嵯峨山　博　　渕本　稔

朝議第28号	朝議第29号	朝議第30号
違反あり：水田　文夫、横尾　正信、嵯峨山　博	全会一致で違反あり	違反あり：水田　文夫、横尾　正信、嵯峨山　博
違反なし：加藤　貴之、渕本　稔		違反なし：加藤　貴之、渕本　稔

令和5年度決算を認定しました。

9月定例会が、8月28日から9月30日まで34日間の会期で開かれ、条例改正、令和6年度補正予算、令和5年度一般会計、特別会計及び企業会計決算の認定等が提案され、それぞれ委員会に付託し審査を行いました。
決算については、最終日に予算決算特別委員会委員長が審査結果を報告し、全会一致で認定しました。

令和5年度の一般会計決算額は、歳入207億7，110万円、歳出200億1，009万8千円、差引き7億6，100万2千円となりました。
また、国民健康保険、介護保険など特別会計及び企業会計決算は、全ての会計において黒字、もしくは均衡した決算となりました。

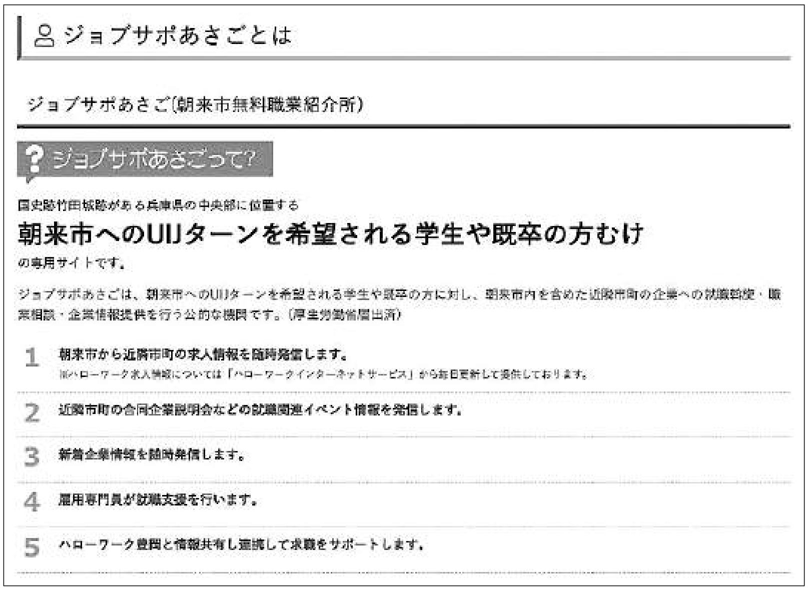
一般会計決算に関する主な質疑

問　消防団活動事業について、火事や水防での出動と並び、イベントや祭りの警備についても公務として報酬が支払われている。今後、公務か公務でないか、一定の整理が必要ではないか。

答　消防団活動の年間活動は、年度初めに消防団との協議で決定している。地域の行事などは、地域と地元分団で協議し出動しているが、公益性を鑑み、消防団と協議し、整理していきたい。

問　雇用促進事業のジョブサポあさごについて、登録は223人と決して少ない数字ではない。実際の相談に行くハードルが高いのではないかと感じており、「ネットで相談予約ができればLINE等で専門員と直接やり取りができる」というような形にしないと、今の仕組みがもったいないと思うが。

答　相談件数が伸びていないということは事実だと感じている。ご提案いただいたことについて、今後、研究を進めたい。



▲仕組みの改善を期待するジョブサポあさご

問　高校生の地元就職というのは、本当に大事なこと。まさに今、人手不足というのが本当に差し迫った課題であるし、全庁的な取組として考えていかなければならない。

答　高校に出向いての*キャリアトークカフェや就活サポートブックの作成・配布等を通じて、市内の各事業所にも協力いただきながら事業所の魅力を伝えている。高校生の地元就職、また、進学された方に地元に帰ってきていただくためのこの取組は今後も継続し、強化していきたい。

問 **ふるさと納税について、いわゆるポータルサイト任せであったものを担当職員が工夫することによって、再び朝来市への寄附金が4億円台に回復したということだが、具体的にどのような工夫をしたのか。**

答 検索結果の上位表示を狙うSEO*対策や、ページデザイン制作を外部委託するなど、柔軟かつ迅速な対応を行った。やはり見やすい魅力あるページづくりが非常に大事であると認識している。

▲寄附金額の拡大により、市民サービスの拡充を

問 **4億円台に回復したことに甘んじることなく、朝来市としては10億円台の寄附金を目指すべきではないか。職員を中心とした取組だけでは限界があると思うので、成功している自治体に倣った戦略が必要と考えるが。**

答 寄附金については、今後も伸ばしていく必要があると考えており、専門性の高い業務については委託等をしながら、寄付額を伸ばしていきたい。

問 **医療的ケアの必要な方が災害時の一時的利用等をする可能性のある施設について、非常用電源の確保がされているのか、発電機を回す燃料が確保されているのか等、現状把握できているか。**

答 それぞれの施設備え付けの発電機で何時間対応できるのかというようなところは、現時点では詳細な把握はできていないため、今後、各施設の状況を伺う中で、市としてどのような対策が取れるのか検討していく。

在宅で発電機等が必要な場合は、市で持ち込み、接続を行うこととしており、定期的に接続テストも行なっている。

問 **交通安全施設整備事業について、市として道路照明設置基準の策定が必要なのではないか。**

答 道路照明の設置については、社団法人日本道路協会が発行している道路照明施設設置基準がある。他市においても、この基準に則り設置されている現状がある。本市においても、この基準を基に関係各所と協議を行い、必要な個所に設置をするべきと考えている。

問 **新生児聴覚検査費助成事業について、重要な検査であると思う。その一方で、2001年ぐらいに色覚検査が検査項目から外されている。現在、色覚検査は学校で実施されているのか。**

答 色覚検査の実施については、現在、小中学校の義務としては外されている分野であるが、全国でも近年再開する学校も出てきているので、今後、義務づけられていないとはいえ、研究していきたい。

問 **昨今、非常に暑くなっているため、ネッククーラー等の配布も必要ではないか。**

答 結露が起きにくいネッククーラーがあるとのことなので、研究・検討を重ねていきたい。

＊キャリアトークカフェ
高校生が多様な大人との対話を通して、自分自身の生き方・暮らし方を考える機会とする。また、多様な職種（市内事業所、起業者、農業など）に触れることでその魅力を知り、さらに、多様な価値観に触れることで生徒のキャリア形成につなげることを目的とする。

＊SEO対策
検索ユーザーが求める有益なコンテンツを提供して、そのコンテンツがポータルサイト等に上位表示されるようにwebサイトを改善する対策。

（決算認定）

予算決算特別委員会審査報告

令和6年度補正予算、令和5年度各会計決算の審査を付託された予算決算特別委員会（分科会方式）は、議長を除く17人の議員で構成し、延べ7日間にわたり慎重に審査を行いました。

令和5年度一般会計決算にかかる審査意見を紹介します。

シティプロモーション推進事業

市民ライター養成講座が開催され、延べ13人が参加されているが、参加後の発信状況等現状が把握されていない。講座の効果を図るためにも現状を把握されたい。

市道維持管理事業

市民生活の安定や交通安全確保に向け点検を十分に行い、維持管理に努められたい。

ふるさと寄附金事業

前年度寄付額より約2億1千万円増とポータルサイトを含めた取組改善により成果を上げた。貴重な自主財源であることから、地域商社の導入、専門家の配置や民間活力を取り入れるなど思い切った事業展開の研究を進められたい。企業版ふるさと納税においてもさらに力を入れて取組まれたい。

▲予算決算特別委員会の様子

広聴会に参加する団体を募集します

皆さんは、市議会に直接伝えたいことはないですか？
私たちは、市民の皆さんの生の声をお聞かせいただきたい！
という思いから、広聴会を開催することとしています。

お申し込みはこちらから

広聴広報常任委員会では、広聴会を少人数で開催し、和やかな雰囲気の中で皆さんとの対話を重ねたいと思っています。
皆さんからのお申し込みをお待ちしています。

〇広聴会に参加できるのは？
→市内に所在する５名以上の団体です。

〇参加の申し込みはいつ、どこに？
→記載希望日の一か月前までを目途に、議会事務局へ申請書をご提出ください。

〇対話のテーマは？
→団体でテーマを決めていただき、申し込みの際にご提出ください。

〇開催場所はどこ？
→各地区公民館や会議スペース等、申込団体においてご準備ください。

令和6年度一般会計補正予算（第3号）

令和6年度一般会計補正予算（第3号）は、現計予算額に1億9，710万円を増額し、歳入歳出の総額をそれぞれ220億8，720万円とするもの。

予算決算特別委員会で審査し、全会一致で可決しました。

質疑

問　新型コロナワクチン接種について、感染予防がなぜ重症化予防に変わってしまったのか。そして、このワクチン接種によって感染予防はできなくなってしまうのか。

答　令和6年10月から始まる新型コロナワクチン接種については、65歳以上の高齢者と60歳から64歳までの特定の疾患のある方が対象であり、予防接種法の中の定期接種という位置づけで、あくまでも重症化を予防するためのものとして実施する。

問　ワクチンの効果と副作用、メリットとデメリットを市で一定調査し、住民に周知する必要がある。適切な情報提供を行うことが重要だが、どのように対応するのか。

答　使用するワクチン等が決定されれば、医師会とも調整しながら、国からの情報を市としてしっかり発信しつつ、定期接種として周知していく。

問　小中学校教育振興事業について、現在、どのような端末を使用していて、問題はないのか。

答　現在、小学校については、ICT教育にすんなり入りやすい感覚的な端末ということでiPadを、中学校については、将来的に社会人としてWindows端末に触れる機会が非常に多いということで、Windowsの端末を採用している。各校のICT担当者とも協議を重ね、現在使用している端末に問題は特にないということで、第2期のGIGAにおいても、同様の端末で整備していく。

問　昨年度、保健室を管理する養護教員に端末が配布されていない状況であり、教職員が共同利用する形を取っているのでは、ということだった。保健室管理では独自の情報を扱うため、好ましくないのではないかということに対し、更新時期を見て導入を検討したいということだったが、どうなっているか。

答　今回の更新において、全教職員に対して配布を行う。

問　今後5年ごとに、1億7000万円近いお金が、市の負担として発生するのか。

答　端末については、国のほうで5万5000円を上限とした基準額を設けており、その3分の2が補助金として交付される。市の持ち出しとしては、830万円程度を予定している。

補正予算（3号）

補正の主な内容

■議会運営事業
（請願受理及び個人情報取扱事務調査特別委員会の設置に伴う弁護士委託料等の追加）　130万円

■予防接種事業
（新型コロナワクチンの価格見直しに伴う接種費用の追加）　4,496万9千円

■飼料価格高騰対策支援事業
（畜産農家への飼料価格高騰に対する補助金の追加）　884万5千円

■小中学校教育振興事業
（小中学校の教育用ネットワーク適正化に伴うアクセスポイント更新費の追加）　2,300万円
※令和7年度タブレット端末更新　1億6,400万円（債務負担）

■給食センター運営管理事業
（令和6年10月から令和7年3月まで市内小中学校児童生徒の学校給食費を免除することに伴う財源更正）　4,300万円

債務負担行為：翌年度以降に自治体が金銭的負担をする場合に、その内容や限度額などを予算書に定めておくもの

9月定例会で審議した議案等に対する賛否の状況

議案名	議案名	上田幸広	横尾正信	松井道信	水田文夫	加藤貴之	関綾乃	吉田俊平	尾﨑里美	藤原正伸	足立義美	西本英輔	浅田郁雄	藤本邦彦	日下茂	森下恒夫	嵯峨山博	渕本稔	森田龍司
議案第55号	朝来市職員定数条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第56号	朝来市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第57号	令和６年度朝来市一般会計補正予算（第３号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第58号	令和６年度朝来市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第59号	令和６年度朝来市介護保険特別会計補正予算（第１号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第60号	令和６年度朝来市水道事業会計補正予算（第２号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第61号	令和６年度朝来市下水道事業会計補正予算（第１号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第62号	損害賠償の額を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第63号	損害賠償の額を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第１号	令和５年度朝来市一般会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第２号	令和５年度朝来市国民健康保険特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第３号	令和５年度朝来市宅地開発事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
認定第４号	令和５年度朝来市休日診療所特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第５号	令和５年度朝来市介護保険特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第６号	令和５年度朝来市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第７号	令和５年度朝来市財産区特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第８号	令和５年度朝来市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第９号	令和５年度朝来市工業用水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第10号	令和５年度朝来市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第5号	特別委員会設置要綱の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第6号	朝来市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	×	○	○	○	
－	調査経費の増額の件について	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

賛成した議員は○　反対した議員は×　欠席した議員は欠
※議長には通常、表決権がありません。

委員会調査報告

総務常任委員会調査報告

⑴市ホームページに関する事項
⑵朝来庁舎等整備に関する事項

『調査の概要』

⑴令和５年度にリニューアルした市ホームページのモニタリング指標について、説明を受けた。第１四半期の閲覧件数比較では、令和５年度27万３４０９件に対して令和６年度29万７４３２件であり８・８％増であった。この要因として、新型コロナウイルス感染症の５類移行によりイベント等が増え、人流が回復したこと、また、行動意欲の向上等によるものとのことであった。

第１四半期の滞在時間の推移では、令和５年度平均94秒に対して令和６年度平均86秒であり８秒減であった。第１四半期の上位検索ワードは、両年度とも上位２つは、「竹田城跡」、「空き家バンク」であった。

なお、令和５年度にホームページアクセス解析ツール（Google アナリティクス）のバージョン変更が行われ、算定方法が変わったことから、令和４年度以前と令和５年度以降の比較はできないとのことであった。

⑵朝来庁舎等（庁舎、旧商工会棟、庁舎北棟、生涯学習センター）について、建築年月、構造階数、延床面積及び耐震診断の説明を受けた。なお、朝来庁舎等整備については、建て替えるかどうか及びスケジュールも含めてすべて未定であった。

『委員会のまとめ及び意見』

⑴検索キーワードの上位５位が示されたが、ホームページビュー数や閲覧数との相関関係やその根拠について、分析が行われていない。ホームページを戦略的に活用するため適切な分析に努められたい。

⑵朝来庁舎の整備検討委員会設置の際には、公募委員を設けるなど、広く市民の声が反映されるように努められたい。

総務常任委員会調査（視察）報告

京都府福知山市

災害時等における無人航空機（ドローン）を活用した物資輸送等に関する協定について

【調査の概要】

本市に隣接する福知山市は、京都府の北西部に位置し、平成18年１月の市町合併を経て、現在、人口約７５０００人、面積約５５３㎢の市である。

なお、本市は災害時における応急・復旧活動を円滑に実施するため、平成25年２月６日、福知山市と「災害時における相互応援に関する協定」を締結しています。

また、本市は、平成30年度に福知山市、丹波市と３市連携推進連絡会議を設置し、連携事業に取り組んでいます。

令和４年度、福知山市は、地震、風水害、豪雪やその他の災害が発生した場合に、無人航空機（ドローン）を活用して、孤立集落への救援物資の輸送や被害状況調査を実施するため一般社団法人無人航空機操縦士養成協会（ＤＰＴＡ）と、「災害時等における無人航空機を活用した物資輸送等に関する協定」を締結している。協定締結によるメリットとして、①機体を保有しなくてもよい、②有資格者の養成を必要としない、③飛行による経費は発生しない、④災害時以外にも活用が可能を挙げ、基本的にデメリットは無いとのことであった。

【委員会のまとめ及び意見】

「災害時等における無人航空機を活用した物資輸送等に関する協定」締結について、他の自治体の事例も参考にしながら前向きに研究、検討を進められたい。

▲管外視察の様子（京都府福知山市）

委員会調査報告／一般会議実施報告

文教民生常任委員会調査報告

ヤングケアラーに関する事項

『調査の概要』

(1)令和6年2月7日

本調査を行うに当たり、当局に確認が必要な事項や課題等について論点整理を行った。

(2)令和6年8月8日

現状及び課題について調査を行い、担当課において要保護児童対策地域協議会でヤングケアラーの実態把握に努めていることを確認した。また、ヤングケアラーになった理由として、保護者の疾病や障害、生活困窮など様々な要因が背景に存在するケースがあることを確認した。

福祉・医療・教育に係る関係機関の連携のもとで毎月開催している実務者会議などにおいて、情報共有を行うとともに適切な相談支援業務を行っており、必要に応じて兵庫県支援事業(配食サービス)も組み合わせながら継続的な見守りを行っているほか、子ども家庭センターなどを窓口としてPRに取り組んでいる。

『委員会のまとめ及び意見』

子育て支援課が中心となってヤングケアラーの実態把握及び支援業務を進めているが、今後も福祉・医療・教育などの関係機関と連携しながら、引き続き実態把握に努めるとともにヤングケアラーの支援及び解消に努められたい。

総務常任委員会一般会議実施報告

朝来市消防団の現状について

【会議概要】

消防団長により、朝来市消防団の成り立ち及び現状について、資料に基づき説明を受けた。

続いて、危機管理部から令和5年度に改正された消防団員報酬及び創設された分団報奨金について説明を受けた。

その後、意見交換を行った。

【主な発言要旨等】(抜粋)

・現在の実員でも火災等には対応できるが、今後起きるかもしれない大規模災害には十分な対応ができるか不安である。

・減少が続く消防団員を確保し、十分な体制を構築していくことが、消防団においても急務であると考えている。

・6年ぶりの開催となった本年度の操法大会は、競うことよりも操法の訓練という位置づけの元、チーム力を上げ、基本操作の大事さを学んでいただくことに重点を置き実施した。今後も過度な競争にならないようにしたい。また、操法大会については、負担を感じているという声も聞くが、消火技術の向上と士気の高揚のためには、絶対続けるべきであると考えている。

・団員不足対策として、消防団は朝来市にとって最重要な組織と位置付けることが必要であり、市がPRや活動服の新調等のイメージ戦略により子どもが憧れる消防団にする必要がある。

・消防団員協力店制度等を創設し、消防団員(家族も含めて)が優遇措置を受けられるようにすれば、家族の理解も受けやすい。

【まとめ】

今回、朝来市消防団の現状と課題などについて意見交換し、理解が深まった。当局においては、消防団は、有事の際、市で最も重要な組織であることから団員不足問題をはじめ、消防団活動が円滑に実施できるよう最大限の支援をされたい。

なお、重点意見は次のとおりである。

①消防団員の確保について、市も消防団と協力し対応する必要がある。

②消防団活動について、市民・地域等の理解と支援を促進する取り組みが必要である。

③消防団活動をケーブルテレビや市広報等で広く市民等にPRする必要がある。

④消防団員の処遇改善(活動服・防護服の新調、災害時等の賄い、消防団協力店制度の創設)を行う必要がある。

⑤市職員の災害時等出動の際の食糧費についても検討する必要がある。

⑥消防団を市の最重要な組織と位置付けるとともに、それに見合った財政支援等様々な支援を行う必要がある。

議員定数（18名→16名）の改正についてのパブリックコメント（意見公募）の結果

■意見募集の趣旨と考え方

①朝来市議会は令和７年に執行される市議会議員選挙に向け、議員定数を確定するために、令和５年12月に設置した議会改革調査特別委員会（定数６人）で、検討してきました。

②今日までに16回の委員会を開催し、市議会の改革に向け調査研究してきました。議員定数についてもそのうち７回、委員会で調査し、意見交換の結果、多数決により議員定数を現在の18人から２名を減じて16名にするべきとの結果を得ました。

③よって当委員会としては、朝来市議会基本条例第19条の規定に基づき、この結果を市民の皆様にお知らせして、広く意見等を公募し、その意見等を参考にして最終の報告を議会にあげたいと考えています。

■パブリックコメントの結果

募集期間を令和６年８月23日（金）～９月20日（金）の29日間に設定し、17件（郵便８件、ファクシミリ２件、電子メール３件、持参４件）のご意見をお寄せいただきました。

「議員定数削減により削減できる経費で、定数削減後の議員の報酬や活動費を引き上げるなど、議員の待遇を改善すれば競争性が高まり、資質の高い候補者が議員になるのではないか。」といったご意見や、「議員定数を削減することは、市民の多様な意見の議会への反映を妨げるものと考える。」など、貴重なご意見が記載されていました。

提出された意見等の概要については、
朝来市議会ホームページをご覧ください。

■パブリックコメント実施後の展開

令和６年９月定例会最終日の９月30日、「朝来市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について」として、議員定数を現行の18名から２名を減じて16名とする内容で議員発議され、質疑・討論の後、採決に入り、賛成多数により原案どおり可決しました。

※次の一般選挙（令和７年10月予定）から適用されます。

議案名 ＼ 議員名	上田幸広	横尾正信	松井道信	水田文夫	加藤貴之	関綾乃	吉田俊平	尾﨑里美	藤原正伸	足立義美	西本英輔	浅田郁雄	藤本邦彦	日下茂	森下恒夫	嵯峨山博	渕本稔	森田龍司
発議第6号 朝来市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	×	○	○	○	※

賛成した議員は○　反対した議員は×　欠席した議員は欠　※議長には通常、表決権がありません。

質疑・討論・採決の様子は、録画映像
インターネット配信をご覧ください。

議会だよりアンケート 集計結果

広聴広報常任委員会では、議会だよりが市民の皆さんにより親しまれ、分かりやすく読みやすい紙面となるよう、また市民と議会とをつなぐツールとなるよう、毎号の編集作業を行っています。この度、皆さんの議会だよりに対する思いを聴取するため、「議会だよりアンケート」による調査を行いました。

アンケートはがきは、8月発行の議会だより第91号に挟み込んで全戸配布するとともに、インターネット回答の手法も取り入れました。

集計結果は次のとおりで、問8へご記入いただいたご意見・ご感想は、今後の議会だより編集作業等の参考とさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

問1 年代を教えて下さい。

20歳未満	0件	50代	3件 (7.9%)
20代	0件 (0%)	60代	9件 (23.7%)
30代	0件 (0%)	70歳以上	24件 (63.2%)
40代	1件 (2.6%)	回答しない	1件 (2.6%)

問2 性別を教えて下さい。

女性	7件	(18.4%)
男性	30件	(79.0%)
回答しない	1件	(2.6%)

問3 議会だよりの内容はどうですか。

もっと平易に書いてほしい	8件	(22.2%)
ちょうど良い	24件	(66.7%)
もっと専門的に書いてほしい	4件	(11.1%)

問4 議会だよりについているQRコードを活用していますか。

活用している	9件	(23.7%)
活用していない	24件	(63.2%)
知らない	5件	(13.1%)

問5 表紙について、昨年8月から、市民の方に身近に感じられるよう、市民の方にご応募いただいた人物写真を掲載しています。(複数回答可)

身近に感じられるようになった	21件	(55.3%)
自分も応募してみたい	3件	(7.9%)
特に変わらない	14件	(36.8%)

問6 賛否の状況について、どのような記載方法が良いと思いますか。

省略せず全て○×を記載したほうが良い(現状のまま)	26件	(70.3%)
全員が賛成の議案はまとめて記載したほうが良い	3件	(8.1%)
状況に応じてどちらでも良い	8件	(21.6%)

問7 閉会中の活動報告について、前号までは各委員会の報告文章を掲載していましたが、今号から一覧表形式にしました。委員会の状況が良く分かるようになりましたか?

良くわかるようになった	16件	(41.0%)
変わらない	19件	(48.7%)
分からなくなった	4件	(10.3%)

市政を問う

一般質問（代表・個人）では、市長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来の方針等について問い質し、また、行政施策に対する提案等も行います。

なお、内容と写真は各議員が560字以内にまとめ提出したもので、質問順に掲載しています。紙面の制約上、質問・答弁とも要約されており、文責は各議員にあります。

代表質問

公共施設再配置の進捗状況等

清風の絆　**足立義美**

○屋根付運動施設の検討状況

問　政策説明会で、朝来市が所有している土地3か所に絞ったと報告があったが、検討経過等について伺う。

答　市有地の有効活用や地理的な観点から3か所を整備候補地として選定し、専門業者に委託し調査を進めている。候補地の状況によっては、周辺土地の取得も視野に入れている。11月末までに検討懇話会を開催し、12月中に最終候補地を選定したい。

○旧朝来梁瀬医療センター跡地整備の進捗状況等

問　跡地整備は、民間の提案を受けて検討中だが、進捗状況や今後の方向性はいかがか。

答　跡地の利活用については、市有財産の有効活用を図るため、民間事業者へ有償貸付をすることとし、借り受け希望者の募集を実施したい。令和7年1月に貸付けの申込みを受け付け、事業計画及び価格提案などを審査のうえ、令和7年4月から貸し付けを開始したい。

○旧朝来和田山医療センター跡地整備の方針等

問　跡地整備は、民間活力を導入し、朝来市の観光拠点にふさわしいものに整備すべきと考えるがいかがか。

答　跡地の利活用については、市有財産の有効活用を図る観点から、今後、事業者との対話を通じたサウンディング型市場調査の実施を検討するなど、観光振興を含め有効活用に向けた検討を進めてまいりたい。

▲民間に有償貸付予定の旧朝来梁瀬医療センター跡地

氏名下の二次元コードにより、スマートフォン等で録画映像をご覧いただけます。

代表質問

子どもは社会の宝

朝来市創生の会　**嵯峨山　博**

○決算状況について

問　財政調整基金が令和3年度から5年度で約12億円と大きく積み上がった。未来への投資を行う必要がある。

答　子ども施策や教育への投資、将来の負担軽減につながる取組みを進めている。今後、大型事業を予定していることから、公共施設管理基金へ積み回しを行い、対応等を検討していく。

問　屋内公園や第1子からの保育料無償化に取り組む必要がある。

答　屋内での遊べる場所については、市内に2か所の既存の施設を活用し、幼児向けの遊び場、日曜広場を開放している。今後は、屋内遊戯施設機能を付加した施設を研究する。

　無償化については、給食費や保育料の無償化など、子育て世帯からの要望があることは承知している。研究する課題である。

○防災について

問　自助、共助など地域防災力を高める必要がある。体制整備等を行う必要がある。

答　地区の防災力を高めることは重要である。防災会議の内容を見直しする。有効な会議の場として活用し、防災について情報共有できる体制整備を進めていく。

問　個人が準備する防災資機材へ補助し、市民の意識向上につなげる必要がある。

答　防災用品の購入に対する補助は、現在検討をしている。

▲準備しましょう！防災グッズ

個人質問

朝来市における高齢者福祉について

尾﨑　里美

○認知症について

問　朝来市において高齢者は何人おられるのか。

答　令和6年7月末現在で1万284人おられる。

問　介護認定を受けている方はどれ程おられるのか。

答　本年6月末で2408人おられる。

問　認知症の方はどれ程おられるのか。

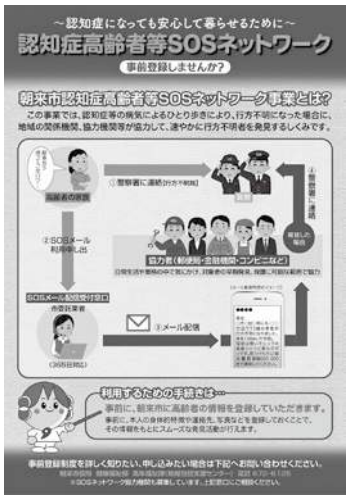
答　およそ1500人程が認知症の何らかの症状があるというふうに推計している。

問　認知症高齢者等GPS機能付き端末費助成事業があるが、どの様な事業なのか。

答　在宅で暮らしておられる認知症の方で、認知症高齢者等SOSネットワークに登録されている方を対象に、希望される場合はGPS機能付きの端末の実費利用相当分を助成する事業である。

問　個人賠償責任保険加入事業について詳しい説明を求める。

答　認知症の方が日常生活における偶然、突発的な事故に遭遇した場合や他人に怪我を負わせたり他人の財産を壊したりする事によって、本人や家族が法律上の損害賠償責任を負ってしまったという場合に賠償金を保険で補償する事業である。朝来市が保険契約者となり保険料を負担する。本人の費用負担は無く、万が一事故のあった場合の補償をさせて頂くと言う事で、補償金額は最大で1億円という保険内容になっている。



▶認知症高齢者等SOSネットワークパンフレット

氏名下の二次元コードにより、スマートフォン等で録画映像をご覧いただけます。

個人質問

JR播但線活性化へ 高校生のアイデアを

渕本 稔

○日本遺産の活用を

問 **日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」の認定継続に際し、文化庁から指摘された点にどう取り組むのか。**

答 銀馬車かぼちゃ等の商品開発、生野ステイ等の食・宿泊提供の環境整備を支援する。

問 **指導してくれる学者の皆さんの指摘に、どう応えるのか。**

答 ヘリテージとしてのレベルアップとしてバラロードの拠点化・整備、地域の「銀の馬車道・鉱石の道」愛の醸成、地域外からの誘客増加をめざす。

○実践的な防災の取り組み

問 **災害時の避難所設営・運営について、どのように準備・計画しているのか。**

答 避難所ごとの必要物資リストを策定、間仕切りの設置、健康チェック等に取り組む。

問 **避難所設営・運営に女性の視点が必要だ。**

答 市役所職員も関わるが、そこに女性職員も入ってもらう。

○JR生野駅舎の整備

問 **住民の憩える場として生野駅舎西口広場にベンチが必要。東口待合室は高校生のアイデアを活用した取り組み、エアコンやWiFiを整備すべき。**

答 その必要性について認識しているので、JRとの間で協議を進めていくことで合意している。実現にむけて取り組む。

▲JR生野駅東口待合室

個人質問

土づくりセンターの大規模改修を

吉田 俊平

問 **平成29年6月定例会で総額を8，329万1，000円に修正して改修した攪拌装置は平成29年以降で故障等頻度はどの程度か。また他にも施設や設備が故障等を来していないか。**

答 故障頻度は、令和元年1回、令和2年度2回、令和3年度2回、令和4年度8回、令和5年度8回で、堆肥を製造する上で現時点では機械及び設備に問題となる故障がない。

問 **攪拌機についても毎年壊れているが、一度見直しての施設を20年間、30年間維持するためにどれぐらいのお金が要るのか、そのための財源をどうするのか、維持するためにどのような考え方ができるのかを考えるべきではないか。**

答 私も1回は現場の中を見させて頂き、指定管理者と話をしながら、今後の方向性を見極めさせて頂きたい。

○農業振興について

問 **来年度から兵庫県がキヌヒカリを品種改良した高温耐性米を一般栽培させる予定とのことでありますが、栽培促進支援を実施すべきではないか。**

答 関係機関とも連携し今後の動静を見極めたい。

○都市開発について

問 **スマートシティ関連事業の採択を目指してはどうか。**

答 スマートシティの実現は新たな価値を創出して市全体の魅力向上に繋がる可能性があり、先進事例の知見等を参考に今後検討していきたい。

▶令和4年度、5年度に兵庫県知事賞を連続受賞した土づくりセンター

個人質問

住み続けたい 元気で美しい朝来

水田文夫

○外国人労働者受入企業の支援

問 **外国人労働者に朝来を選んでいただくために「朝来で働く外国人への新生活支援制度」「ようこそ朝来市へ支援制度」等の創設をしてはどうか。**

答 外国人労働者の政策は、国へ要望させていただきたい。

○無人駅対策について

問 **駅は「あさGO」の発着点にもなるところ、梁瀬、新井駅などの待合にネット環境と空調を整え、コワーキングスペースとして整備してはどうか。**

答 待ち時間に学生も勉強できるようなコワーキングスペース等の整備実現に向け、ＪＲと協議していく。

○「あさGO」について

問 **「病院、駅などエリアを超えて運行を」「特急利用を促進するなら「あさGO」から乗換えができるように」などの意見があるが、エリアを超えての運行はできないか。**

答 「あさGO」は、幹線となる路線バスや鉄道等につなぐことで、公共交通機関との共存を図り進めることを基本としている。乗り継ぎをお願いする。

問 **「ＪＲを利用して飲みに行ったり、通院したりすると、最終午後5時半では使いにくい。」との意見がある。午後9時頃まで運行できないか。**

答 働き方改革による時間外労働の上限規制や慢性的なドライバー不足の状況もあり、「あさGO」の運行時間延長は難しいのではと考えている。

▲新井駅待合スペース

個人質問

あるものを活かそう

加藤貴之

○開かれた朝来市を

問 **市長の基本的な考えは。**

答 情報発信は各部に呼びかけ、研修も実施している。広聴は政策づくりに最も重視しており、市民との対話を重ねている。

問 **ＨＰの過去のイベント情報等を削除せず残すべき。**

答 混乱無い公開方法を研究したい。

問 **税や手数料の改正をパブリックコメント対象に含めるべき。**

答 国の行革の動向等を踏まえて対応したい。

問 **市役所の空き会議室を高校生の自習室として開放すべき。**

答 和田山駅の待合室の再整備に向けてＪＲと協議をしたい。

○あさGOの一歩先の未来を

問 **広い朝来市では個人も事業者も様々な場面で送迎が負担になっている。MaaS，共創といった考え方で「共同送迎」に向けた協議会を発足すべき。**

答 国も推進する重要な考え方。将来的に異業者・異分野の移動環境の連携・協働を進めたい。

問 **スクールバスに一般市民も混乗可能か。スクールバスの空き時間を病院送迎に使えないか。**

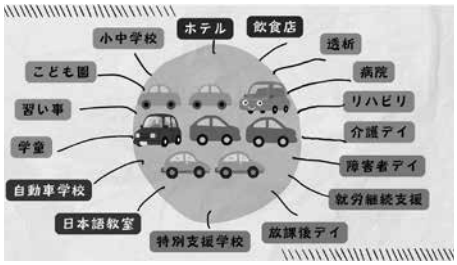
答 現在の規則・運用上難しい。

問 **病院の予約状況の情報から、帰りのバスの時間を予測するシステムを開発してはどうか。**

答 通院に関しては予約変更で直近の便に乗ることができる。

問 **生野駅の観光案内所を朝から開けて市民がバス待ちできるようにすべき。**

答 委託事業者等と研究したい。



▲「共同送迎」みんなで考えましょう！

氏名下の二次元コードにより、スマートフォン等で録画映像をご覧いただけます。

個人質問

誰一人取り残さない共生社会の実現に向けて

松井道信

問 **「健幸」を掲げる本市において、障がい者も健常者と同様の生活が出来る様支援するというノーマライゼーションに対する取組はどうなっているか。**

答 但馬管内の市町の関係機関と共に会議体を構成し、入院中の精神障がい者の方々の社会復帰の促進、自立と社会経済活動への参加促進に取り組んでいる。

問 **80代の親が50代の子供の生活を支える8050問題。本市の実態はどうなのか。**

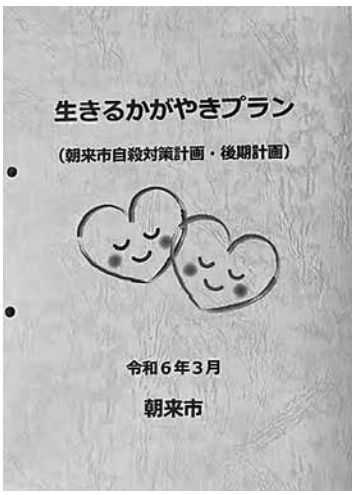
答 本市においては、この問題で困っていると認められたものが6件確認されている。早期発見と早急な支援が重要だ。

問 **本市の自殺率は全国や兵庫県と比較しても継続的に高い値となっている。なぜこうしたことになるのか。**

答 朝来市の自殺率が高い理由や他市との違いについては明確に出来ない状況。引き続き実態把握に努めるとともに、ゲートキーパーの養成を継続的に実施し自殺対策を進めていく。

問 **デジタル化の進展によって情報格差が進み、様々な面で不利益を被る人々が生まれる時代となっている。市当局はこうした課題に対してどのように考えているのか。**

答 現代社会において、デジタル格差の解消は全ての人が平等に情報を得て社会生活を豊かにするための重要な課題であり、格差解消に向けた取り組みに向け邁進していく。



▶生きるかがやきプラン（朝来市自殺対策計画・後期計画）

個人質問

暮らしやすいまちのために

上田幸広

○AEDについて

問 **市内にAEDは、何か所に設置されているのか。また設置場所は市のホームページに掲載されているのか。**

答 現在、生野地域に27か所和田山地域に70か所、山東地域に25か所、朝来地域に18か所に設置されており、市のホームページに掲載し、全国AEDマップにも登録している。

問 **AED使用時、女性のプライバシー保護の為や止血などに役立つ三角巾をAEDボックスに配置する自治体が多い。朝来市でも配置すべきである。**

答 今後、研究させて頂く。

○選択的夫婦別姓制度について

問 **世界で唯一義務化されている日本の夫婦同姓制度は、国連から差別的規定として勧告を受けている。市長の、選択的夫婦別姓制度についての見解は。**

答 選択的夫婦別姓制度は、国においてしっかり議論され幅広く理解を得る必要があると思う。

問 **男女の役割に無意識に固定観念を持つジェンダーバイアスの解消の為の一つ取組として婚姻届けの記載例の「婚姻後の夫婦の氏」の欄のチェックを外すべきと考えるが。**

答 時代に即した様式、記載例に改める。

○公共工事の発注方式について

問 **今後の公共工事において専門工事業者に分離して発注を行う分離発注方式を検討すべき。**

答 市内業者の発注機会の確保に最大限配慮し工事発注する。

▶女性のプライバシー保護にも役立つ三角巾

個人質問

幸せが循環する日はいつ来るか

森下恒夫

○農業の未来

問 **米の生産高は、45００トン、売上で約10億円と朝来市の主要生産物である。しかし、近年離農が進んでいる。対策は。**

答 離農の要因は、高齢化に加え米生産の採算性が低いことにあると考えられる。水稲緊急対策事業等で対策を強化する。

問 **野菜では、ネギが一番多く年に２００トンにせまっている。若者の新規就農増加は良いことだが、除草作業、出荷調整作業等、省力化を進めるべきでは。**

答 収穫から出荷までに手間がかかり、耕作面積の拡大に躊躇されている実態がある。生産者と関係機関と連携し省力化に向けて調査研究を進める

問 **耕作放棄田が２００ヘクタールと大きな面積へ増加している。食料の問題、水害防止、環境面等様々な問題がある。公社化を考えてはどうか。**

答 中山間地域では、特に農業維持が困難な状況は把握している。公社化も一つの方法であるが、耕作不利地が公社に集中することが予想される。地域の関係者と相談し解決策を模索する。

○経済の未来

問 **県の統計によると、市民の平均所得は、朝来市が２８３万円に対し姫路市は３４７万円と63万円の差がある。平均所得を上げる方法として、姫路への通勤を容易にする事が市の未来への必須条件と思うが所見は。**

答 利便性の向上に引き続き取り組む。

▲耕作放棄田を山に返すのか

個人質問

議員の職員への差別的発言は許されない

横尾正信

問 **現在議会では吉田議員の差別的言動に対する議員辞職を求める請願の審査をしている。８月20日に委員会があり請願審査を行なった。議員から差別的言辞を受けた当事者の職員を招致して次の意見を聞いた。**

「会計年度任用職委員を常勤職員の下に見る意識、決して矩を踰えてはいけないという意識が非常に強く出た言葉だと私は即座に理解した。職務差を差別的に容認する発言は非常に許し難いと感じました。こういう事態が公開の場、それも本会議の場で発生したことは私にとって想定外のことでした。またにもかかわらず議場でなぜ発言撤回の声が起こらないのかと強く疑問に思いました。

今回議場でなされたこの議員発言を問題視して請願を出された市民のように敏感に感じ取られた市民も多くいたと思います。一般市民の請願行動に救われたような気がします。」

この陳述を市長はどう聞いたか。

答 発言があった時現場にいたものとして強く反省している。即座に発言撤回を求めることについて今思えば躊躇するべきではなかった。議会終了後に当の職員には深く謝罪をした。

問 **議会も当局も反省が必要だ。今後の対応はどうか**

答 再度このような事態が起きないことを期待したい。もし再びあれば、担当課の方でしっかりと事案の調査をして適切に対応させていただく。

▲差別的発言は本会議場でなされた

氏名下の二次元コードにより、スマートフォン等で録画映像をご覧いただけます。

個人質問

アグリツーリズムの可能性

藤本邦彦

問　アグリツーリズムをどのように評価しているか。

答　農業体験や自然体験は魅力のある観光プログラムであると評価している。今後も観光の一つのコンテンツとして様々な自治体と連携し進めていきたい。

問　どのような課題があるか。

答　課題は観光客を受け入れる仕組。一つの農家では多数の受け入れや農作業繁忙期の受け入れが難しく、収穫できる作物の種類や量も制限がある。市内には農泊できる施設も少ない。

　現在梁瀬エリアで酒蔵を活用したツーリズムを検討。農泊の導入の可能性を探っている。

問　担い手や協力者など人材確保が重要では。

答　担い手の確保は非常に大きな課題。体験型コンテンツを取りまとめ広報はしているが、これらのコンテンツは収益を生む仕組の域には達していない。

　これまでの実績や効果を検証し情報を共有することは、実施主体と、活動に興味がある方が連携し、受け入れ体制を広く構築するなど、次の担い手の確保においても重要だと考えている。

○アグリツーリズムで移住促進

問　大変効果があると考えるが。

答　移住後の生活に農業との関わりを持つことを求める方は多く、アグリツーリズムをはじめとした農業をテーマとする現地体験型の取り組みは、移住促進にも大きな効果がある。今後も、農業から移住につながる仕組みについて調査研究を進める。

▲岩津ねぎの収穫体験

個人質問

財政運営戦略

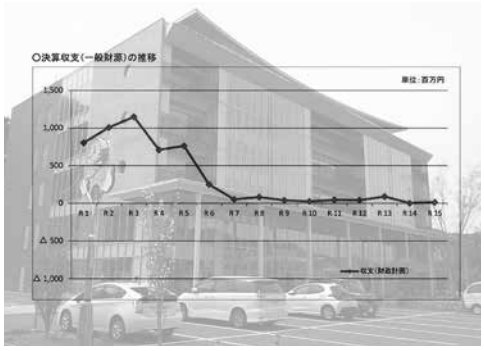
藤原正伸

問　近年の歳入歳出の減少傾向は、経済活動の停滞、少子高齢化、人口流出等地域課題の影響。市税、地方交付税は共に前年度から約一億円の減少で、この傾向は今後も続く見通し。そのような中で財政基盤を強化するためには、財源確保の方法を多角的視点で模索することが必要。

答　高齢化の進展や将来的な生産年齢人口の減少により、劇的な税収増は望めない状況。ふるさと納税や企業版ふるさと納税の取組、遊休資産の売却や貸出し等有効活用、国県補助金等の積極的で確実な獲得、有利な地方債の活用のほか、さらなる官民連携の導入に向けた調査研究を加速する。

問　財政面の人件費抑制課題はあるが、限られた人材で効果的に業務を進め、無駄な支出を抑えながら必要なサービスを維持するためには、短期的なコスト削減だけではなく、将来的な持続可能性を重視した人材の確保、育成と人員配置の最適化等、長期的視点での人材戦略構築が鍵になる。

答　職員については慢性的な人材・人員不足と共に年齢構成の若干の不均衡という課題がある状況で、長期的な適正配置のためには年齢構成の平準化を意識した人員・人材の確保と、職員個々の能力、モチベーションの向上が必要。計画的、効果的な人財への投資により、真に必要な行政サービスを提供し続けることができる人材育成を目指す。



▲財政収支見通しが示す今後の決算収支（一般財源）の試算

個人質問

公園の活用で市の活性化と経済効果を生め！

日下 茂

○現状を調査し発展的活用を！

問 **市内には58ヶ所の公園とスポーツ公園、森林自然公園もある。機能せず管理が不十分と高校生議会からも指摘があるが、管理と活用について尋ねる。**

答 58と他の公園は、直営、委託、指定管理で憩いの場となるよう努めているが、管理の不十分さは反省したい。機能してないものは、廃止もしている。

問 **水辺の楽校計画で施工した竹田親水公園は、管理が最悪。機能していない公園を廃止し、総合運動公園や戦没者慰霊公園を整備する気はないか。**

答 梁瀬MC跡地は現在募集中。

問 **播但道のPA、和田山病院、梁瀬病院の跡地の活用について、また、戦没者慰霊平和公園について構想はあるか。**

答 和田山MC跡地は市場サウディング方式で有効な施設を考えたい。平和公園は情報を共有し、研究しながら考えたい。

○高規格医療機器の導入検討を

問 **八鹿病院のPET・CT、MRI導入で朝来医療センターへのMRI設置が困難になった。八鹿病院に情報提供が無かった苦情と朝来医療センターに手術支援ロボットhinotoriの導入を構成市として考えないか。**

答 要望は構成市「豊岡市」、管理者と連携したい。

▲導入が期待される手術支援ロボット

閉会中も委員会活動に取り組みました

委員会	開催日	調査・協議事項
総務常任委員会	7月10日	朝来市消防団の現状について【一般会議】
	7月29日	業務改善について
		人事給与について
		公文書管理について
		市ホームページについて
		朝来庁舎等整備について
	8月5日	地域コミュニティの在り方について【調査研修会】
	8月7日	福知山市視察（災害時等における無人航空機（ドローン）を活用した物資輸送等に関する協定について）
文教民生常任委員会	6月27日	多可町視察（健幸ポイント事業及び健幸アプリの取組について）
	7月5日	健康増進について
	7月10日	健康増進について
	8月8日	ヤングケアラーについて
		ひきこもりについて
産業建設常任委員会	6月27日	観光施設等について
		特産物振興について
	7月12日	公共交通について
	8月9日	観光施設等について

委員会	開催日	調査・協議事項
議会運営委員会	7月4日	第20回定例会の日程について等
	7月24日	第19回臨時会の議案等について
	8月1日	請願第2号及び請願第3号について
	8月20日	第20回定例会の議案等について等
	8月26日	台風10号に関する議会運営について
広聴広報常任委員会	7月2日	議会だよりの編集・発行について等
	7月23日	議会だよりの編集・発行について等
	8月8日	議会報告会について
	8月19日	議会報告会について
議会改革調査特別委員会	6月26日	市長と市議会議員の同日選挙について等
	7月11日	議会改革（案）について等
	7月30日	議員定数について等
	8月8日	議員定数改正に向けたパブリックコメントについて等
	8月20日	議員定数改正に向けたパブリックコメントについて等

氏名下の二次元コードにより、スマートフォン等で録画映像をご覧いただけます。

令和6年度 高校生議会

令和６年８月１日、高校生議会を開催しました。
次世代を担う高校生の政治や地方自治への意識醸成を目的として、今年で４回目の開催となりました。
参加された１５名の高校生議員の感想をご紹介します。

生野高校生議員感想

井上 聖陽（いのうえ まさはる） 議員

高校生議会に参加し、朝来市の課題について深く考える貴重な機会を得ました。緊張しながらも意見を発表し、議員の方から丁寧な回答をいただきました。この経験を通じて、社会の仕組みや問題解決に対する理解が深まり、今後の活動に生かしたいと感じました。

稲葉 愛美（いなば まなみ） 議員

朝来市議会高校生議会に参加をしてみて、改めて朝来市のことについて知ることができました。地域の問題について深く考えるいい機会になったと思います。多くの人と意見を交わすことで、新しい考え方が得られもっと地域のことについて知りたいと思いました。

議長 松田 尚大（まつだ なおひろ） 議員

僕は、議長をさせていただき、とても貴重な体験でした。また、一般質問では議員さんが実際に現地調査に行ってくださったり、どうしてこの提案が難しいのか、このような取り組みをしてはどうか、など丁寧な答弁をしてくださりました。本当にありがとうございました。

細川 陽葉里（ほそかわ ひより） 議員

高校生議会に参加して、朝来市のことをもっと考えていきたいと思いました。本番はとても緊張しましたが私が思う朝来市の改善点が提案できました。その提案に対して議員の方に丁寧に回答していただきとても嬉しかったです。議会に参加する機会は中々ないのでとてもいい経験になりました。

平岡 由衣（ひらおか ゆい） 議員

高校生議会に参加して意見交換の重要性と社会への関心が高まったかなと思います。
他校の皆さんの意見を聞いて様々な視点から学ぶことができました。提案した意見はそれぞれ違いますが朝来市をよりよくするという同じ目標に向かって活動することで仲間との絆も深まったと思います。

岡山 凛香（おかやま りんか） 議員

朝来市高校生議会に参加をし、議員さん方のお話を聞いて改めて自分の住んでいる地域をより知ることができました。とても貴重な体験が出来てとても勉強になりました。答弁していただいた回答をもとに今後の活動に活かしていきたいです。

和田山高校生議員感想

議長 山内勇斗 議員

初めての体験だったため、とても緊張し、読むだけなのに、何度も噛んでしまったり、読み間違えたりしてしまいました。しかし、このような体験は今後することがないと思ったため、一生懸命取り組もうと思い、頑張りました。この経験を今後に生かしたいです。

石井優里 議員

トップバッターだったので、しっかり質問できることを目標にしました。本番では、少し噛んだ所もありましたが、質問を伝えることができて良かったです。

磯愛理 議員

初めて立った場所なので、良い経験になりました。間違えた所もありましたが、それはそれで学ぶことがあったので、次に生かしていきたいです。他のメンバーの質問に対する答弁も聞くことができて、色々と勉強になりました。

坂本美月 議員

初めて議会に参加して、とても緊張して疲れましたが、とても良い経験になったと思います。市の議員の方と話すことはめったにないので、今日の経験を忘れないようにしたいと思います。

土井星奈 議員

リハーサルの時はすごく緊張しましたが、頑張って話すことができました。私の提案に対しての答弁に少し不満がありました。
(提案に対して、できるかできないか結論が聞きたかったです。)

井手口爽 議員

普段できないことをして、慣れないことが多く、緊張しました。答弁では、思っていたよりも難しい内容が返ってきましたが、自分なりに理解しようと思いました。

藤原成菜 議員

人が沢山いて緊張しました。リハーサルよりは上手くできたと思いましたが、声が震えました。次に人前に立つことがあるときは、もっと自信をつけたいです。

大林ゆあ 議員

最初は絶対出来ないし、無理だと思っていたけれど、リハーサルの時よりゆっくり話すことができたので良かったと思いました。緊張したけれど、貴重な経験ができたので、参加できてよかったです。

福元礼捺 議員

初めはとても緊張していました。大勢の大人に対して自分の意見を話す機会などめったにないことなので、とても貴重な体験になりました。緊張しながらも堂々と話せたと思います。

両校教諭の感想

山本　識人 教諭（生野高校）

これまで生徒たちはなかなか町づくりなどについて考えたことがなく、自分たちがどういうことに困っていて、何を改善してもらえそうか、など考えたことがあまりなかったように思います。ところが、このような機会を得まして、考えていく中で、自分たちの町を自分たちで作っていくのだという気持ちが少し芽生えたのではないかと感じます。

今すぐ何かを変えられるわけではないかもしれませんが、生徒たちの中に自分たちが住んでいる地域をよくする主体としての自覚が育つことを期待しています。

黒﨑　真理子 教諭（和田山高校）

今年度で４年目の開催となり、毎年このような貴重な経験の場を設けていただき、感謝申し上げます。また、準備から当日まで朝来市議会議員の皆様をはじめ、事務局の方にも大変お世話になりました。

参加した生徒たちは、高校生の目線で朝来市の課題と向き合い、手こずりながらも自分たちなりに通告書を作成しました。限られた時間の中で、完成させるのに苦労しましたが、生徒たちにとって、市政に対して自分ごととして考える良いきっかけとなりました。

高校生議員の一般質問項目は以下のとおりです

生野高校

和田山高校

稲葉 愛美　議員
ＪＲ生野駅東側待合室の活用

井上 聖陽　議員
学校の老朽化について

岡山 凛香　議員
朝来市の支援金制度について

平岡 由衣　議員
朝来市の駅に思い出に残るお土産の設置をしたいと考えています

細川 陽葉里　議員
買い物がしづらい方への対応について

松田 尚大　議員
駅の近くに気軽に使える公共施設を作って欲しい

石井 優里　議員
朝来市をより広くアピールするスイーツについて

磯　愛理　議員
アグリツーリズムを活用した地域活性化について

坂本 美月　議員
ＪＲ和田山駅前の活性化と電車利用者の利便性の向上

土井 星奈　議員
電車の待合室を有効活用するための提案

井手口 爽　議員
歩行者や自転車利用者の安全確保について

藤原 成菜　議員
今年再開される和田山の花火大会について

大林 ゆあ　議員
朝来市内にある公園の整備について

福元 礼捺　議員
経済活性化のための「空き店舗バンク」の開設について

令和６年度高校生議会　正副議長講評

森田　龍司　議長

令和６年度の高校生議会をすばらしい議会に創り出していただいた県立生野高等学校と県立和田山高等学校の高校生議員の皆さまと多大なるご協力を賜りました先生方に心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

高校生議員の皆さんは、多くの時間を費やして万全の準備を進め、本議会に堂々と自信を持って臨まれました。その高い志に心から敬意を表します。

そして、高校生としての視点と立場から、自分たちの課題として地域の課題を挙げ、的確に考えを述べていただきました。そのことは、とてもすばらしいことです。

今後は、この経験を基にして住みやすいまちづくりと朝来の未来づくりについて、皆さんが自ら、どういう行動をしなければならないかを更に考えていただくことを期待しています。

足立　義美　副議長

高校生議会は４回目を迎えました。主権者教育の一環という性格を有しています。皆さんが主権者として自覚を持つことは、ただの権利を超えて、責任も伴ってまいります。政治や社会の仕組みについて学び、自分の意見を持ち、行動することが重要です。皆さんの声が未来を形づくる力になります。今日ここでの皆さんの真剣な質問が、将来に向けての第一歩となることを願っております。

若者の視点やアイデアは、ときに新しい風を吹き込みます。社会は常に変化しており、その変化に対応するためには、新鮮な視点が必要です。皆さんが持つ独自の考え方やアプローチが、今後の社会をよりよいものにするためのヒントになればなと考えます。長年の慣習や固定観念にとらわれず、自分自身の感覚を信じ、柔軟な思考を持ち続けていただきたいと思います。

あなたの写真が表紙に！

議会だよりの表紙に市民の
みなさんが撮影した写真を募集します。
ご応募お待ちしています。

次号 第93号
令和７年２月５日
発行予定
12月５日
〆切

表紙写真応募の詳細はこちら

12月定例会の予定

月	火	水	木	金
			11/28 本会議	11/29
2	3	4	5	6
9 一般質問	10 一般質問	11 一般質問	12 産業建設常任委員会	13
16 総務常任委員会	17 文教民生常任委員会	18	19	20 予算決算特別委員会
23	24 本会議	25	26	27

最新の日程については、朝来市議会ホームページをご覧ください。

お問い合わせは議会事務局 TEL 672-1930

発行／朝来市議会　　朝議　R6. 11月　13,000 部

住所／〒669-5292 兵庫県朝来市和田山町東谷213番地1
TEL／079-672-1930　FAX／079-672-1931